

# ぼくが生きてる、 ふたつの世界

2024年  
上海国際映画祭  
コンペティション部門  
正式出品

伝えられない想いが  
あふれだす。



監督: 呉美保 主演: 吉沢亮 脚本: 港岳彦

忍足亜希子 今井彰人 ユースケ・サンタマリア 烏丸せつこ でんでん

原扶貴子 山本清司 河合祐三子 長井恵里

原作: 五十嵐大「ぼくが生きてる、ふたつの世界」(幻冬舎刊) 企画・プロデュース: 山岡秀幸

製作: 「ぼくが生きてる、ふたつの世界」製作委員会(レオタード・エンターテインメント/博報堂DY/エー・アンド・エフ・インターナショナル/フジテレビジョン/ユニバーサルエンターテインメント/アール・エフ・エンタテインメント/東宝/東北新社/東映/東宝映像制作/東宝映像制作/東宝映像制作)

助成: 文部科学省文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会

©五十嵐大/幻冬舎 ©2024「ぼくが生きてる、ふたつの世界」製作委員会 配給: ギャガ GAGA★ gaga.ne.jp/FutatsunoSekai/

母に背を向け、故郷を離れたぼく——。  
繊細に紡がれる、きこえない母ときこえる息子、そしてあなたの物語。

9.20 Fri

GAGA★

＊コーデがきこえない、またはきこえない親を持つ聴者の子供

親子の物語が、そしてひとりのコーデの心の軌跡が、点描のように紡がれていく。監督は、本作が9年ぶりの長編作品となる、『そのみにて光輝く』『きみはいい子』の呉美保。作家・五十嵐大氏の自伝的エッセイを原作に、脚本は『正欲』の港岳彦。吉沢亮が、「きこえる世界」と「きこえない世界」を行き来しながら生きる主人公を体現、自身の居場所を見出し、いく若者の心を繊細に演じた。母・明子役には、ろう者俳優として活躍する忍足亜希子。  
やがて母への想いが観る者の胸にも静かに温かく満ちていく、心に響く映画が誕生した。



# 母と息子、切なくも心に響く家族の物語

Story

宮城県の小さな港町、五十嵐家に男の子が生まれた。祖父母、両親は、“大”と名付けて誕生を喜ぶ。ほかの家庭と少しだけ違っていたのは、両親の耳がきこえないこと。幼い大に

とっては、大好きな母の“通訳”をすることも“ふつつ”の楽しい日常だった。しかし次第に、周りから特別視されることに戸惑い、苛立ち、母の明るささえ疎ましくなる。心を持って余したまま20歳になり、逃げるように東京へ旅立つ大だったが…。



*Living in Two Worlds*

監督：呉美保 主演：吉沢亮 脚本：港岳彦

忍足亜希子 今井彰人 ユースケ・サンタマリア 鳥丸せつこ でんでん

原扶貴子 山本清司 河合祐三子 長井恵里

原作：五十嵐大「ぼくが生きてる、ふたつの世界」(幻冬舎刊)

企画・プロデュース：山岡秀幸

製作：小池洋平 飯田剛 伊藤真彦 野村弘幸 寛木実幸 一力勝彦 藤ノ木正敏 高城剛夫

企画：宮崎大 プロデューサー：長澤佳也 音楽：田中祐人 撮影：田中剛 照明：瀧口知 録音：小澤水建治 美術：井上心平 装飾：櫻井尊介 小道具：吉水久美子

衣裳：藤子潤子 ヘアメイク：山内聖子 原田ゆかり キャスティング：藤林理央子 演技事務：朝原美帆 助監督：水波圭史 制作担当：柴野洋 協力プロデューサー：高橋剛

編集：田崎麻子 VFXスーパーバイザー：帆足誠 カタリ：上野智博 宣伝：アモンダキネ 資料あき サウンドエディター：大塚達哉

タイトルデザイン：山岡秀幸 石村長由美 コーディング：朝川悠史 字幕監修：川村明彦 全日本ろうあ連盟

監製：ヤマキ/エスエフ/NET/タカラ

製作：「ぼくが生きてる、ふたつの世界」製作委員会(フジテレビジョン・テレビ朝日・日本テレビ放送網・TBSテレビ・NHK総合)

プロモーション：アパシー/アパシー/河津事務所/製作委員会/シネマとうほく

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会

©2024 日本映画振興会 2024年9月20日より全国公開 「ぼくが生きてる、ふたつの世界」製作委員会

2024/日本/多言語/ビスタ/ICM/デジタル/105分/映倫：G

配給：ギャガ GAGA gaga.ne.jp/FutatsunoSekai/ E-mail: FutatsunoSekai

## ぼくが生きてる、ふたつの世界

# 9/20 (Fri) ROADSHOW